



「みのりある学び」と 「さわやかな仲間」は 「最適な環境」から

みささ



三朝町立三朝中学校 学校だより

令和5年3月7日 No.31

文:岡本勇人

今日は、県立高等学校一般入試第1日目。正式名称「県立高等学校一般入学者選抜」。県立高等学校"じゅけん"の漢字は、"受験"を使用します。なぜなら、"学力検査"を"受ける"からです。

私立高等学校"じゅけん"の漢字は、"受験"を使用します。"入学試験"を"受ける"からです。日本語の発声だけでは、漢字表記は不明です。"私立=わたくしりつ"、"市立=いちりつ"と発声することがあります。

それと比較すると、英語は"発声"で言葉の意味が変わることが少ないので、簡単ですね。"発音"で意味が変わってしまうことはありますが…。

例えば、"ヤバイ"と言う単語一つで様々な感情を表現することがあります。この単語を聞いた時、"時間・場所・場面"等を充分考えないと、意味が変わってしまいます。この言葉を英単語に置き換えると…、

・ 危ない時(困った時)

I'm in trouble./I messed up!/Oh,no!/Damn!/This is not good! など

・ すごくいい時(嬉しい時)

Fantastic!/Awesome!/Outstanding!/Amazing!/Wonderful!/Incredible! など

と、意味を間違えることは少ないです。

明日の県立高等学校一般入試第2日目は面接です。質問の回答で、"…が、ヤバかったです。"と言わないことを願っています。

日々意識しながら日本語を使っていると、たとえ緊張していても心配ないですが…。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「三井寿」

◆ 翔一先生…!!バスケがしたいです…



トレセンに向かう生徒は、授業開始前から"主体的"な姿が溢れています。気持ちも体もすでにエンジン

全開ですね。

"あきらめたらそこで試合終了だよ"

「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「伝統」

◆ 応援団演舞披露…



つねづね感じていることなのですが、伝統は引き継ぎたいです。コロナ禍だから、内容等の見直しをしたものがありますが、With コロナだからこそ、工夫に工夫を重ね、伝統を絶やさない方法を試行錯誤していく必要があります。

まずは、応援団。第51代応援団長の指導と鞭撻の元、披露ができました。各種地域活動で披露できる機会があれば伺います。

「みのりある学び」×「最適な環境」×「雪解け…」

◆ "収穫ですか〜"と尋ねたら…



2年生がプランター菜園のチェックをしています。"ミニ大根です!!"と言って収穫した野菜が、紫色に見えたので、"カブですか?"と。

あれだけの積雪に耐えた、いわゆる「雪の下(ミニ)大根」だから、紫色に変化したのでしょうか。青色のバラが無いように、農作物や植物の色が、なぜその色なのか自然界には不思議なことがたくさんあります。

※「雪の下大根」は北海道で生産されています